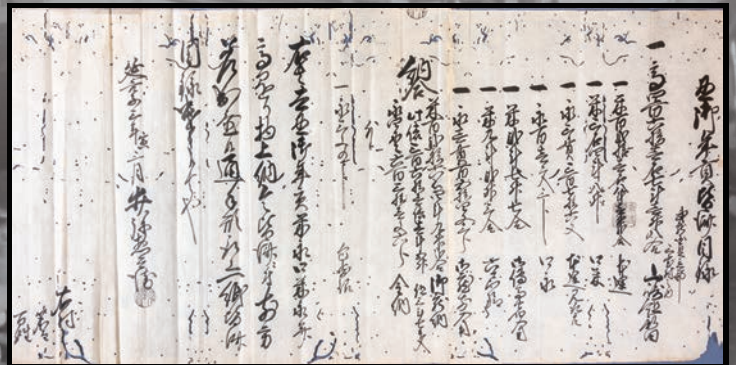
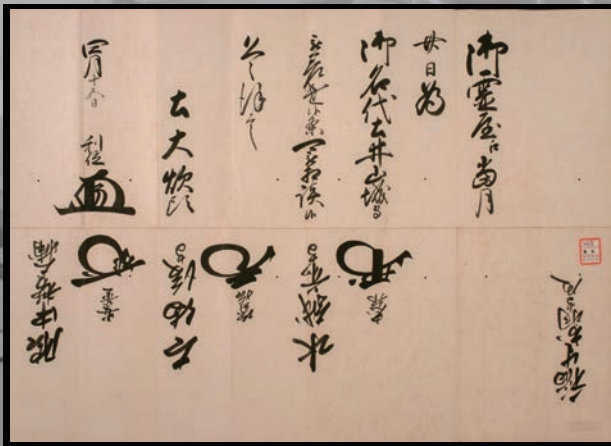


企画展

古文書講座 60 周年

古文書を楽しむ

一見方、読み方、調べ方



古文書講座で使用されてきた歴代資料を紹介！
展示を見れば、読めるようになるかも？！

左 [老中連署奉書] 稲生家文書 486
右 [丑御年貢皆目録] 武笠(寛)家文書 233
奥 近世史料講習会(昭和50年代)

2024

1/23 [火] ~ 4/28 [日]

詳細情報



【開館時間・観覧料】

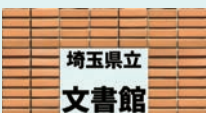
午前9時~午後5時 **無料**

【休館日】

月曜日、祝日、
月末休館日 (1/31 [水]・2/29 [木])

【会場】

埼玉県立文書館 1階 展示室2



さいたまけんりつもんじょかん 〒330-0063
埼玉県立文書館 さいたま市浦和区高砂 43-18
Saitama Prefectural Archives ☎048-865-0112



古文書を楽しむ

－見方、読み方、調べ方－



埼玉県立文書館
マスコット
もんじろう

皆さんは古文書にどんな印象を持ちますか？

馴染みが薄く、難しいと敬遠されがちな一方、古文書を読みたい人も多く、根強い人気があります。古文書講座や古文書学習を目的としたグループ活動が各地で盛んに行われ、書店にも様々な教材が並んでいます。

本展示では、埼玉県が60年間にわたって開催してきた古文書講座のテキストから、初めて触れる人でも親しみやすい古文書を紹介します。

古文書解読の核となる見方、読み方、調べ方を学び、古文書の楽しみ方を見つけてみませんか。

第1章：古文書の見方～まずは形を観察しよう～

古文書に親しんでいく上で、はじめの一步となるのが古文書の形態を確認することです。

古文書の代表的な形態とその事例を紹介します。

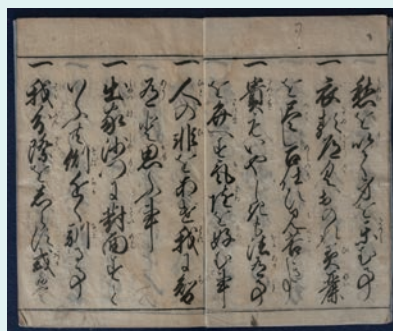


[[神流川無賃渡高札]] (戸谷家文書 8065)

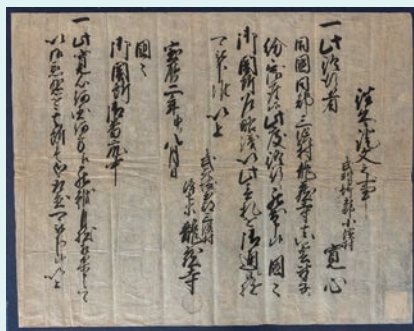
第2章：古文書の読み方～わかる文字から読んでみよう～

古文書を楽しむ上で、最大の難関となるのが、くずし字の解読です。

時代をたどりながら、各時代の文書について紹介します。



「女今川状」(飯塚家文書 5500)

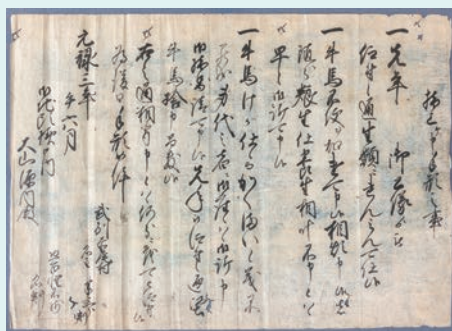


「往来証文之事」(田部井家文書 789)

第3章：古文書の調べ方～古文書の学びを深めよう～

古文書をより深く読み解いていくためには、時代背景の理解や周辺知識の修得が欠かせません。

有名な歴史的な事象と関係する文書を中心に紹介します。



「指上ケ申手形之事(生類憐二付)」(林家文書 2631)



「小笠原越中守知行所江流来候空船之図」(稻生家文書 14)

